

ガソリン携行缶を安全に取り扱うための留意事項

平成25年8月15日(木)

京都府福知山市の花火大会会場でガソリン携行缶が絡む爆発事故が発生しています。(死者3人、負傷者55人)

【注意が必要なもの】

ガソリン



ガソリンは専用の携行缶で保管

！噴出注意！

- ＊周囲の安全を確認
- ＊フタを開ける前に
- ①エンジン停止
- ②エア抜きをする
- ＊高温の場所禁止

直射日光の当たる場所や高温の場所で保管しない

燃料補給



携行缶のフタを開ける前に、「エンジン停止」「エア抜きをする」

周囲の安全を確認する

噴出注意

ガソリン携行缶内部が高温・高圧になっている場合、噴出の恐れあり



消火器



火気器具を使用する場合は、いざという時のために消火器を備える

○多数の人が集まる場所で火災等の事故が発生すると、被害が甚大となるおそれがあります。

○火気取扱い（危険物の取扱い）には充分注意しましょう。